

事務事業分析シート（平成24年度）

No1

事務事業名	ロケーション関連事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	谷井
		担当者名	森田	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（24年度）	ロケーション施設管理費（01-01-01）				
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 24年度 ○ 23年度）		○ 建設事業	● それ以外の継続事業	
開始年度	○ 昭和 ● 平成	15 年度	根拠		
終期設定	○ 有 ● 無	年度	法令等		
実施基準	○ 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準		計画区分	○ 計画	● 非計画
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[Ⅲ]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	映画、ドラマ、CMなどの撮影を区内に誘致し、映像を通して区のイメージアップを図る。				
対象者等	映画、ドラマ、CMなどの制作会社				
内容	<p>区内公共施設や区内での撮影を誘致するために、施設の提供、手続きの利便性向上等支援を行う。</p> <p>1 旧道灌山中学校校舎3階の一部を映像制作コーディネータに貸付け、ロケ場所として提供                  ①貸付場所 荒川区西日暮里5-37-5 旧道灌山中学校 3階一部346.64㎡(トイレ等共用部分は除く)                  ②貸付料 月額 223,000円                  ③共益費 月額 50,000円                  ④使用時間 午前9時～午後9時                  ※旧道灌山中学校については耐震基準を満たしていないため、平成24年度末を以って暫定利用を終了する。</p> <p>2 ロケに関する相談受付、情報提供、区施設使用に係る連絡調整                  3 区内のスポットや店舗などがテレビ等のロケで使用された実績の調査</p>				
経過	平成13年 3月 道灌山中学校廃校 9月 校舎をACCに無償貸与 平成15年 2月 ACCがロケ場所として提供(映像制作コーディネータに貸付け) 10月 ACCへの無償貸与中止、区が映像制作コーディネータに貸付け 平成17年 4月 公募により、コーディネータの選定				
必要性	映像を通じた区のイメージアップ及び施設の有効活用を図ることができる。				
実施方法	( 1直営 ) ( 直営の場合 ○ 常勤 ● 非常勤 ○ 臨時職員 )				

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
予算額	1,409	1,382	1,396	1,352	1,597	1,383	1,345	
①決算額(24年度は見込み)	629	627	647	666	777	781	1,093	
②人件費等	904	1,342	424	1,018	1,570	1,241		
③減価償却費					1,017	1,089		
【事務分担当】(%)	25	30	25	30	35	35		
合計(①+②+③)	1,533	1,969	1,071	1,684	3,364	3,111	1,093	
国(特定財源)								
都(特定財源)								
その他(特定財源)	6,585	3,276	3,276	3,276	3,276	3,276		
一般財源	-5,052	-1,307	-2,205	-1,592	88	-165	1,093	
実績の推移	事項名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
	旧道灌山中学校利用件数	80	73	58	72	62	66	
	その他区施設でのロケ件数	23	27	36	33	44	10	
	ロケに関する相談等受付件数	73	51	90	59	91	114	

事務事業分析シート（平成24年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成22年度（決算）		平成23年度（決算）		平成24年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
		光熱水費	電気料	63	電気料	74	電気料
需用費	建物修繕	0	建物修繕	0	建物修繕	540	
役務費	受水槽清掃ほか	12	受水槽清掃ほか	12	受水槽清掃ほか	12	
委託料	清掃、管理、警備、ロケ調査	702	清掃、管理、警備、ロケ調査	695	清掃、管理、警備、ロケ調査	698	

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		21年度	22年度	23年度	24年度 (見込み)	目標値 (25年度)	
標	① 旧道灌山中学校利用件数	72	62	66	60	—	暫定利用（平成25年3月まで）
	② その他の区施設でのロケ件数	33	44	10	12	15	公園の利用状況 ※22年度までは体育館も含む。
	③						

問題点・課題 (指標分析)	①撮影の誘致を拡大するための具体的PR方策が不足している。
	他区の実況 (実施 3 区 未実施 区) 台東区フィルムコミッション（平成17年度～）、すみだフィルムコミッション（平成23年度～） 学校施設の提供は、台東区、豊島区が実施

問題点・課題の改善策		
	平成24年度に取り組む具体的な改善内容	平成25年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	ロケーション活動調査の分析結果を進めるとともに、区内での人気スポットを区ホームページ等で重点的にPRする。	
②		
③		

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
24年度設定	25年度設定	
継続	改善・見直し	旧道灌山中学校を使用したロケ場所の提供については、平成24年度末を以って暫定利用を終了する。また、区内でのロケーション誘致について検討を進める。

議 会 要 質 問 状	H14二定 FCの検討について H14三定 「ロケの街」として売り込むための取り組みについて H21一定 「フィルムコミッション」への取り組みについて
----------------------------	---

事務事業分析シート（平成24年度）

No1

事務事業名	観光情報提供事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	谷井
		担当者名	吉野、内田、降矢	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（24年度）	観光情報提供事業（01-02-01）				
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 24年度 ○ 23年度）		○ 建設事業	● それ以外の継続事業	
開始年度	○ 昭和 ● 平成	14 年度	根拠		
終期設定	○ 有 ● 無	年度	法令等		
実施基準	○ 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準		計画区分	● 計画	○ 非計画
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[Ⅲ]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	荒川区の観光情報を区内外に広く提供することによって、区のイメージアップを図るとともに区への来訪者を増やし、地域経済の活性化を図る。				
対象者等	区外の人々及び区への来訪者				
内容	①観光ガイド（イベントカレンダー）の作成（平成14年度～）*平成22年度版から英語版作成 ②HPに区内行事のインターネット動画配信（平成14年度～） 平成18年度から9件（都電荒川線沿線のバラ、素盞雄神社天王祭、諏方神社御神幸祭、胡録神社例大祭、尾久八幡神社例大祭、仲町通り阿波踊り大会、元三島神社大祭、石浜神社神幸祭、熊野前サンバカーニバル）を常時配信 ③平成21年度、②で制作した動画のダイジェスト版を作成（5イベント） ④HPに都電荒川線花見どころサイトの開設（平成14年度～） ⑤まちあるきマップの作成（平成17年度 日暮里・南千住、18年度 都電荒川線沿線、19年度 日暮里・南千住改訂、20年度 都電荒川線沿線に舎人ライナーを含め改訂、21年度 日暮里・南千住改訂、日暮里・谷中マップ作成、22年度 都電舎人ライナー沿線、23年度 日暮里改訂、千住散策マップ作成、日暮里・谷中増刷改訂、24年度 南千住改訂） ⑥観光PR協力所の設置67か所（H24.3.31現在） ⑦都電荒川線散策マップ（平成19年度） ⑧行政観光パンフレットの作成（平成20年度作成、23年度改訂） ⑨観光スポット特集冊子の作成（平成20年度） ⑩区HPのトップページに観光情報バナーを開設（平成21年度）、都電関連バナーを開設（平成23年度）				
経過	平成22年度から観光ボランティアガイドを受入体制整備事業へ移管した。				
必要性	多様な情報発信により区のイメージアップ及び来訪者の増加を図ることができる。				
実施方法	（1直営）（直営の場合 ● 常勤 ○ 非常勤 ○ 臨時職員）				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
予算額	2,816	5,933	10,000	5,681	6,984	4,155	2,276	
①決算額（24年度は見込み）	2,391	4,776	6,411	4,738	3,590	3,475	2,276	
②人件費等	9,394	11,102	11,255	9,895	11,476	7,622		
③減価償却費					3,922	2,799		
【事務分担量】（%）	110	130	140	125	135	90		
合計（①+②+③）	11,785	15,878	17,666	14,633	18,988	13,896	2,276	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）					184	341		
一般財源	11,785	15,878	17,666	14,633	18,804	13,555	2,276	
実績の推移	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
観光ガイド(イベントカレンダー)	20,000部	20,000部	20,000部	32,000部	33,000部	33,000部	33,000部	
まちあるきマップ(区単独)	56,000部	116,000部	68,000部	160,000部	92,000部	118,000部	118,000部	
まちあるきマップ(他区連携)				日谷作成	日谷(外)作成	千住作成、日谷改訂		
観光PR協力所設置件数(延べ)		38カ所	51カ所	64カ所	66カ所	67カ所	70カ所	

事務事業分析シート（平成24年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成22年度（決算）		平成23年度（決算）		平成24年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
		報償費	翻訳データ校閲謝礼	99			
一般需用費	パンフレットスタンド購入等	271	パンフレットスタンド購入等	132	パンフレットスタンド購入等	313	
旅費							
役務費			郵送料	279			
委託料	まちあるきマップほか	3,220	まちあるきマップほか	3,064	まちあるきマップほか	1,963	

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		21年度	22年度	23年度	24年度 (見込み)	目標値 (25年度)	
①	観光PR協力所の設置件数 (延べ件数)	64	66	67	70	75	
②							
③							

(問題点・課題分析)	①同種の観光情報が、区HP、産業HP、花見どころサイトなど複数サイトに2重或いは3重に掲載されているため、閲覧者が最新かつ網羅的な情報にたどり着くことが困難な状況にあるため、よりわかりやすい情報発信を目指す必要がある。
他区の実況	(実施 22 区 未実施 区)

問題点・課題の改善策		
	平成24年度に取り組む具体的な改善内容	平成25年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	観光情報については、基本的に区HP上にすべて掲載するよう整理・統合を行う。	24年度に整理・統合を実施した内容に基づき、さらに充実を図りながら運営を行う。
②		

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
24年度設定	25年度設定	
推進	推進	観光情報パンフレット等については、これまで重点的に推進してきた結果、現在9種類を作成しており、内容の充実が図られたため、今後はHPでの情報発信に重点をシフトし、ネット上での充実を図る。

議会質問状況(要旨)	H16一定 観光振興に学芸員を活用して。 H16三定 観光組織づくり。観光スポットを売り込む。 H16三定 コリアンタウンの情報発信をすべきである。 H16四定 観光ガイド養成講座を開設。菓子問屋ミュージアムの開設。 H18三定 観光マップの活用を図るため、協力店を募集し、配布拡大を図るべきである。 H18四定 日暮里、三河島の再開発ビルに「観光案内ステーション」を設置し、観光スポットを発信する。 H24一定 日暮里駅周辺において、地元と協力して情報発信を進めるべき。
------------	--

事務事業分析シート（平成24年度）

No1

事務事業名	荒川区観光大使PR事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	谷井
		担当者名	内田	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（24年度）	荒川区観光大使PR事業（01-02-02）				
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 24年度 ○ 23年度）		○ 建設事業		● それ以外の継続事業
開始年度	○ 昭和 ● 平成	18 年度	根拠	荒川区観光大使設置要綱	
終期設定	○ 有 ● 無	年度	法令等		
実施基準	○ 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準		計画区分	● 計画	○ 非計画
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[Ⅲ]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区の魅力を積極的に紹介していただける著名人を「荒川区観光大使」として任命し、幅広い人脈やネットワークを活かした協力を頂き、荒川区のPRとイメージアップを図る。</li> <li>・ 小中学生が区外児童生徒との交流を通じて「あらかわ魅力伝え隊」として区のPR活動を行うことにより、郷土意識の醸成を図る。</li> <li>・ 区の観光情報を区外に発信する意志のある個人や企業を観光PRサポーターとして登録し、草の根的なPR活動を展開していくことで、荒川区への誘客を図る。</li> </ul>				
対象者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 荒川区在住又は出身者で、区に愛着を持ち、区の魅力を積極的に紹介していただける著名人</li> <li>・ 区内小中学生</li> </ul>				
内容	<p>（観光大使）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 それぞれの立場において機会あるごとに荒川区のPRをしてもらう。</li> <li>2 荒川区観光大使の名刺を作成。</li> <li>3 区長と観光大使との対談を実施し、対談内容をケーブルテレビやホームページ等で情報発信する。</li> <li>4 PR物品として、都電荒川線のポストカード、産業振興シンボルキャラクター「わぎ丸」の携帯ストラップを作成。</li> <li>5 城戸真亜子（洋画家）、三遊亭好楽（落語家）、井崎脩五郎（競馬評論家・タレント）、片岡鶴太郎（俳優・画家）の4名</li> <li>6 観光大使に対して、区の最新情報（旬な話題、観光イベント情報、観光パンフ等）を随時提供。</li> <li>7 観光大使が区の魅力を紹介する「私の大好きなまち」作成（19年度新規作成、23年度改訂）</li> </ol> <p>（あらかわの魅力伝え隊）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 観光大使の補助的役割を担う</li> <li>2 区内小中学生が、区外の児童と交流する場において、名刺や観光パンフレットを配布する。</li> </ol> <p>（観光PRサポーター事業）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 区の魅力や観光情報を積極的に区外に向けて発信する意志のある個人や企業を、観光PRサポーターとして登録。</li> <li>2 区からサポーターに対してPRチラシ等を配布し、機会あるごとにPR活動を実施してもらう。</li> </ol>				
経過	平成20年度「あらかわの魅力伝え隊」を試行実施（平成21年度～本格実施） 平成24年度から観光PRサポーター事業を開始する。				
必要性	著名人の協力による幅広い人脈やネットワークを活かし、区の知名度及びイメージの向上を効果的に図ることができる。				
実施方法	（1直営）（直営の場合 ● 常勤 ○ 非常勤 ○ 臨時職員）				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
予算額	1,379	759	686	318	315	586	638	
①決算額（24年度は見込み）	380	331	343	225	85	292	638	
②人件費等	7,686	2,562	1,694	1,221	1,308	2,541		
③減価償却費					436	933		
【事務分担量】（%）	90	30	20	15	15	30		
合計（①+②+③）	8,066	2,893	2,037	1,446	1,829	3,766	638	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	8,066	2,893	2,037	1,446	1,829	3,766	638	
実績の推移	事項名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
	観光大使任命(人)	4	0	0	0	0	0	0
	区長との対談(回)	1	0	0	1	1	1	1
	PR活動	名刺作成	冊子作成	名刺・ポストカード	ストラップ	ストラップ	冊子作成	名刺作成
	あらかわの魅力伝え隊			2回	1回	1回	1回	1回
	観光PRサポーター数							15

事務事業分析シート（平成24年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成22年度（決算）		平成23年度（決算）		平成24年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
		一般需用費	大使PR物品	53	大使PR物品	17	大使・PRサポーター物
	昼食会	22			昼食会	43	
			PR冊子作成	275			
使用料	会場使用料	10			会場使用料	18	

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		21年度	22年度	23年度	24年度 (見込み)	目標値 (25年度)	
①	魅力伝え隊活動実績（回）	1	1	0	1	1	学校による他自治体との交流の場の回数
②	観光PRサポーター数	—	—	—	15	20	企業・個人の計
③							

（問題点・課題 指標分析）	①観光大使により多くの場で荒川区のPR活動を行ってもらえるよう工夫する必要がある。
他区の実況	（実施 6 区 未実施 16 区） 中央区（ミス中央）3人、台東区（たいとう観光大使）18人、豊島区（ソメイヨシノ桜の観光大使）3人、北区（北区アンバサダー）6人、品川区（観光大使）5人、墨田区（すみだ親善大使）3人

問題点・課題の改善策		
	平成24年度に取り組む具体的な改善内容	平成25年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	観光大使が、荒川区のPR活動をより手軽に行ってもらえるよう、区の観光情報等を掲載した新たな大使用の名刺を作成する。	大使によりタイムリーに区の情報を提供できるよう工夫するとともに、大使の活躍の場を創出するべく庁内各課と連携を図る。
②		
③		

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
24年度設定	25年度設定	
継続	継続	引き続き、観光大使のPR力の活用を図る。

況議 （要 質 問 状）	
--------------------------	--

事務事業分析シート（平成24年度）

No1

事務事業名	産業観光推進事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	谷井
		担当者名	山岸	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（24年度）	産業観光推進事業（01-03-01）				
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 24年度 ○ 23年度）		○ 建設事業		● それ以外の継続事業
開始年度	○ 昭和 ● 平成	14 年度	根拠		
終期設定	○ 有 ● 無	年度	法令等		
実施基準	○ 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準		計画区分	● 計画	○ 非計画
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[Ⅲ]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	荒川区の産業技術や伝統工芸技術、区内で製造・販売されている優れた商品の紹介とPR、そしてモノづくり見学・体験スポットを通じて、モノづくりの街荒川のイメージアップと産業観光を推進する。				
対象者等	商品の製造、販売事業者 区民、区外の人々及び来訪者				
内容	<p>○観光PRコーナーの設置（おすすめ品の販売等）・（平成23年度実績） ①あらかわの伝統技術展、②荒川区産業展、③TCK大井競馬場、④つくば市産業展、⑤鉄道フェスティバル（尾久駅構内）、⑥路面電車の日、⑦都電荒川線の日、⑧バラの市、⑨まるごとパズルin大垣、⑩都庁観光情報センターPRコーナー（伝統工芸、マイスターの実演）、⑪モノスポ2011、⑫隅田川駅貨物フェスティバル、⑬ヤクルトファン感謝デー ※ はブランドの物販あり</p> <p>○「荒川ブランド」商品を紹介する冊子の作成・配布 平成17年度 荒川のおすすめ品 区民が選んだおみやげ編Part1（33商品） 平成18年度 伝統工芸品、荒川マイスター製品編（伝統工芸品47商品、荒川マイスター製品17商品）（計64商品） 平成20年度 伝統工芸品、荒川マイスター製品編改訂（伝統工芸品44商品、荒川マイスター製品18商品）（計62商品） 平成22年度 伝統工芸品、荒川マイスター製品編改訂（伝統工芸品43商品、荒川マイスター製品19商品）（計62商品）</p> <p>○モノづくり見学・体験スポット整備支援事業 「モノづくり」工房や、ギャラリー等を一般公開する者に対し、スポットとして認定する。なお、必要に応じて改修等の費用を補助する。 2/3補助（100万円上限）うち1/2は都補助あり 平成19年度 2件 平成20年度 6件 平成21年度 4件（計12件） 平成22年度 3件（計14件）※1件廃止あり 平成23年度 3件（計16件）※1件辞退あり</p>				
経過	<p>○平成20年度 ①都電ウォークラリーは分離し、単独事業へ。②荒川ブランドセールスプロモーション事業を統合した。 ③伝統技術展は経営支援課へ移行した。 ○平成23年度 「駅からハイキング関連事業補助」経費を産業観光推進事業へ組み替え</p>				
必要性	モノづくりの街荒川の地域資源を活かし産業観光を推進することは、地域の産業活性化に資するところが大きい。				
実施方法	（1直営） （直営の場合 ● 常勤 ○ 非常勤 ○ 臨時職員）				

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
予算額	30,814	11,713	9,552	8,179	8,321	5,551	5,404	
①決算額（24年度は見込み）	4,708	4,814	7,521	3,475	3,324	3,328	5,404	
②人件費等	11,956	11,346	5,929	5,700	7,848	8,046		
③減価償却費					2,615	2,955		
【事務分担量】（%）	140	140	70	70	90	95		
合計（①+②+③）	16,664	16,160	13,450	9,175	13,787	14,329	5,404	
国（特定財源）								
都（特定財源）		698	2,516	888	672	856		
その他（特定財源）								
一般財源	16,664	15,462	10,934	8,287	13,115	13,473	5,404	
実績の推移	事項名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
	PR事業(回)	5	9	11	12	15	13	17
	内、ブランドPRイベント(回)	2	7	8	8	10	9	10
	商品紹介冊子作成(部)	20,000		20,000		25,000		25,000
	モノづくり見学体験スポット		2	6	4	3	3	3

事務事業分析シート（平成24年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成22年度（決算）		平成23年度（決算）		平成24年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
		報償費	審査委員謝礼等	48	審査委員謝礼等	66	審査委員謝礼等
一般需用費	スポット看板購入	78	参考図書購入	1	荒川ブランドPR	100	
旅費	大垣	71	大垣	71	大垣	144	
委託料	イベントPR設営等	2,498	イベントPR設営等	1,882	イベントPR設営等	2,365	
使用料	荒川ブランドPR	99	荒川ブランドPR	198	荒川ブランドPR	685	
負担金	スポット補助金	234	スポット補助金	1,110	スポット補助金	2,000	
	駅ハイ補助	296					

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		21年度	22年度	23年度	24年度 (見込み)	目標値 (25年度)	
①	イベント会場での実演・展示実施件数	12件	15件	13件	17件	17件	
②	モノづくり見学・体験スポットの件数	12件	14件	16件	19件	22件	数値は累計
③							

（問題点・課題分析）	① イベント会場でのPR・物販については、効果を検証しながら実施していく必要がある。
	② モノづくり見学・体験スポットのさらなる拡大とPRを進めていく必要がある。
他区の実況	（実施 5 区 未実施 17 区） 東京都産業を活かした観光ルート整備支援事業活用区 台東区（中小製造業アトリエ化支援事業）、豊島区（伝統工芸を巡る小路案内事業）、墨田区（3M運動ガイドマップ）、板橋区（産業観光整備事業）、江東区（ものづくりマップ作成）

問題点・課題の改善策		
	平成24年度に取り組む具体的な改善内容	平成25年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	イベント会場でのPR・物販については、より高い効果が望めるものを探し、注力する。	
②	平成23年度に実施したモノづくり見学・体験スポットPRイベント「あらかわモノスポ」について、より出店事業者のニーズにあった形で実施する。	モノづくり見学・体験スポット事業者だけでなく、伝統工芸技術保存会やJ・マイスターとも連携を図り、区の産業観光に資する方法を検討する。
③		

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
24年度設定	25年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	モノづくり見学・体験スポットの新規開拓及び更なる周知を図る。

議会議決要旨	H17二定 産業観光の視点で、姉妹友好都市交流をするべき。 H17二定 日暮里・舎人線の開通に合わせて、イベントを開催してはどうか。 H18一定 観光産業振興を図るため、花電車を走らせたらどうか。 H18四定 都電を活用し、荒川区の観光振興を図るべきである。
--------	--



# 事務事業分析シート（平成24年度）

No1

事務事業名	観光イベント助成	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	谷井
		担当者名	吉野、内田、森田	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（24年度）	川の手荒川まつり事業(01-04-01) 観光イベント助成(01-04-02)				
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 24年度 ○ 23年度）		○ 建設事業		● それ以外の継続事業
開始年度	● 昭和 ○ 平成	62 年度	根拠	荒川区観光振興事業補助金交付要綱	
終期設定	○ 有 ● 無	年度	法令等	川の手荒川まつり実行委員会実施事業補助金交付要綱	
実施基準	○ 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準		計画区分	● 計画	○ 非計画
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[Ⅲ]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	区民の開催する観光事業を支援し、区民とともに観光資源を育成する。				
対象者等	区民主体の民間団体				
内容	<p>1 川の手荒川まつり実行委員会補助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成18年度 南千住野球場 20,004千円(20回記念シンポジウムや郷土芸能の祭典)</li> <li>・平成19年度 東尾久運動場 7,465千円 平成20年度 荒川遊園運動場 7,832千円</li> <li>・平成21年度 汐入公園 7,875千円 平成22年度 南千住野球場 8,191千円</li> <li>・平成23年度 東尾久運動場 62千円(中止)</li> </ul> <p>2 観光振興事業補助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成18年度 2件 100千円(ホテル鑑賞の夕べ 50千円、矢立初めの俳句大会 50千円)</li> <li>・平成19年度 4件 180千円(ダイヤモンド富士 50千円、鈴虫の音色を聞く会 30千円、矢立初めの俳句大会 50千円、隅田川お花見クルーズ 50千円)</li> <li>・平成20年度 5件 1,182千円(日暮里舎人開業イベント 1,000千円、鈴虫の音色を聞く会 32千円、矢立初めの俳句大会 50千円、隅田川お花見クルーズ 50千円、日暮里繊維街マップ作成 50千円)</li> <li>・平成21年度 5件 1,149千円(日暮里さくら祭り 973千円、鈴虫の音色を聞く会 26千円、矢立初めの俳句大会 50千円、隅田川お花見クルーズ 50千円、左内まつり 50千円)</li> <li>・平成22年度 3件 243千円(日暮里駅前広場イベント 167千円、鈴虫の音色を聞く会 26千円、矢立初めの俳句大会 50千円)</li> <li>・平成23年度 6件 984千円(日暮里駅前広場イベント 758千円、オオムラサキ鑑賞会 50千円、秋の鳴く虫鑑賞会 50千円、鈴虫の音色を聞く会 26千円、ハロウィン 50千円、富士見坂パンフ作成 50千円)</li> </ul> <p>3 駅からハイキングにおける商店街PRのための補助</p> <p>多数の外客が見込めるイベント等において、下町商店街の魅力を伝え、再訪を促す取組を実施している。</p> <p>平成20年度(芭蕉旅立ちの日(碑)と下町商店街散策) 平成21年度(下町商店街とバラの街「あらかわ」めぐり) 平成22年度(下町商店街とバラの街「あらかわ」めぐり) 平成23年度(タイムトラベル！昭和から平成へ、あらかわめぐり)</p>				
経過	<p>○川の手荒川まつり</p> <p>昭和62年以来、(計5回を除き)毎年4月29日(祝)に実施。17年の実行委員会において開催場所を南千住野球場、東尾久運動場、荒川遊園運動場、汐入公園で毎年開催することをルール化した。</p> <p>○平成23年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「駅からハイキング関連事業補助」経費を産業観光推進事業から組み替え。</li> <li>・「シダレザクラ祭り補助金」が公園緑地課に移管。</li> </ul>				
必要性	区民・地域団体等が実施するイベントを支援することで、より多くの集客の機会を創出することができる。				
実施方法	( 1直営 ) ( 直営の場合 ● 常勤 ● 非常勤 ● 臨時職員 )				

		(単位：千円)						
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
予算・決算額等の推移	予算額	28,920	10,074	12,688	12,340	12,310	10,407	11,543
	①決算額(24年度は見込み)	22,316	9,927	11,490	11,845	11,218	1,775	11,543
	②人件費等	6,694	9,271	10,049	9,798	11,737	9,287	
	③減価償却費					4,503	4,043	
	【事務分担量】(%)	100	130	140	145	155	130	
	合計(①+②+③)	29,010	19,198	21,539	21,643	27,458	15,105	11,543
	国(特定財源)							
	都(特定財源)							
	その他(特定財源)							
	一般財源	29,010	19,198	21,539	21,643	27,458	15,105	11,543
実績の推移	事項名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
	シダレザクラ祭り参加者	5,000人	7,000人	7,000人	8,500人	10,000人	中止	9,200人
	事業補助金(日暮里イベント含む)	2件	4件	5件	5件	3件	6件	6件
	川の手荒川まつり来場者	60千人	60千人	60千人	60千人	60千人	中止	70千人
	川の手荒川まつり参加団体	136	134	139	147	146	中止	140

事務事業分析シート（平成24年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成22年度（決算）		平成23年度（決算）		平成24年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
		補助金	シダレザクラ祭り補助金	2,138	事業補助金	226	事業補助金
	事業補助金	76	駅ハイ補助金	232	駅ハイ補助金	300	
	川の手荒川まつり補助金	8,191	川の手荒川まつり補助金	62	川の手荒川まつり補助金	9,200	
	日暮里イベント	167	日暮里イベント	758	日暮里イベント	1,000	
一般賃金	臨時職員	518	臨時職員	497	臨時職員	576	
時間外手	時間外勤務手当	128	時間外勤務手当	0	時間外勤務手当	117	

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		21年度	22年度	23年度	24年度 (見込み)	目標値 (25年度)	
①	観光事業補助金申請件数	5件	3件	6件	7件	7件	
②	川の手荒川まつり来場者数	60千人	60千人	60千人	70千人	80千人	
③							

（問題点・課題分析）	① イベント助成について、額や率がイベント規模事業効果、実績等を踏まえたものとなっていない。 ② 川の手荒川まつりについて、出店者等現状の規模で実施できる会場に限られてきている。
	他区の実況 （実施区 未実施区）

問題点・課題の改善策		
	平成24年度に取り組む具体的な改善内容	平成25年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	平成25年度予算要求に向けてイベント助成の方法を実績・規模等を踏まえたものに整理する。	地域における観光イベントの開催について、より効果が上がるよう積極的に支援していく。
②	平成25年度以降の川の手荒川まつりのあり方及びそれを実現するための実施会場について見直し検討する。	
③		

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
24年度設定	25年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	区民・事業者の自主的活動こそが、観光振興による地域活性化を図る上で欠かせないものであり、支援を進める必要がある。

議会議決要旨	H16一定 沿線商店街と連携した都電乗客サービスの提供と路面電車サミットの開催について H14三定 都電沿線の文化祭における区及び地元商店街の関わり方について
--------	--

事務事業分析シート（平成24年度）

No1

事務事業名	観光振興懇談会運営費	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	谷井
		担当者名	播磨	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（24年度）	観光振興懇談会運営費(01-05-01)				
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 24年度 ○ 23年度）		○ 建設事業		● それ以外の継続事業
開始年度	○ 昭和 ● 平成	18 年度	根拠	荒川区観光振興懇談会設置要綱	
終期設定	○ 有 ● 無	年度	法令等		
実施基準	○ 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準		計画区分	● 計画	○ 非計画
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[Ⅲ]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	観光に関する様々な分野の有識者で構成する懇談会において、区の観光振興の目指すべき方向とその実現のために必要な具体的施策等について検討いただき、その提言に基づき、区の観光振興施策の効果的な推進を図る。				
対象者等	学識経験者、観光関係団体、観光・交通事業者、産業団体関係者等				
内容	<p>【平成18年度】 懇談事項</p> <p>1 区内の観光及び観光資源の現状                      2 これまでの観光振興施策 3 他自治体における事例等の調査研究                  4 調査機関による基礎調査の分析・検討 5 観光振興施策の今後の方向性及び具体的施策</p> <p>【平成19～23年度】 18年度の調査報告書、懇談会提言に基づく区の観光施策の実施状況やその他の社会情勢変化に伴う見直し等の検討・検証</p> <p>【視察経過】 第4回懇談会 川越市視察 第8回懇談会 都電荒川線荒川車庫等、区内視察 第9回懇談会 山谷(城北旅館組合)・谷中地域視察</p>				
経過					
必要性	専門家からの提言・示唆を活かすことで、より効果的な区の観光振興施策を推進していくことが出来る。				
実施方法	( 1直営 ) ( 直営の場合 ● 常勤 ○ 非常勤 ○ 臨時職員 )				

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
予算額	8,357	2,142	1,104	765	669	773	382	
①決算額(24年度は見込み)	6,050	412	474	109	108	0	382	
②人件費等	7,686	3,416	2,541	814	872	423		
③減価償却費					291	156		
【事務分担当】(%)	90	40	30	10	10	5		
合計(①+②+③)	13,736	3,828	3,015	923	1,271	579	382	
国(特定財源)								
都(特定財源)								
その他(特定財源)								
一般財源	13,736	3,828	3,015	923	1,271	579	382	
実績の推移	事項名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
	観光基礎調査		実施					
	懇談会		5回	2回	1回	1回	0回	1回
	研究会							1回

事務事業分析シート（平成24年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成22年度（決算）		平成23年度（決算）		平成24年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
		報償費	委員報酬	79	委員報酬	0	委員報酬
旅費	旅費等	1	旅費等	0	旅費等	18	
食糧費	賄い	8	賄い	0	賄い	32	
一般需用	消耗品	0	消耗品	0	消耗品	50	
役務費	テープ反訳	20	テープ反訳	0	テープ反訳	70	
使用料	会場使用料	0	会場使用料	0	会場使用料	14	

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		21年度	22年度	23年度	24年度 (見込み)	目標値 (25年度)	
①							
②							
③							

(問題点・課題 指標分析)	①懇談会での提言等を、具体的な施策の構築のために十分活用できているとは言えない。
他区の実 施状況	(実施 7 区 未実施 15 区)

問題点・課題の改善策		
	平成24年度に取り組む具体的な改善内容	平成25年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	より実践的・具体的に区の地域特性、資源を活かした独自性ある観光振興、にぎわい創出について検討、実施していくため、主に職員を対象とした研究会を実施する。	研究会の充実を図り、具体的な施策構築のために活用する。
②		
③		

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
24年度設定	25年度設定	
継続	継続	より実践的・具体的に施策に反映していくため、引き続き研究会を実施していく。

況議 (要 会 質 問 状)	
-------------------------------	--

事務事業分析シート（平成24年度）

No1

事務事業名	都電荒川線活用事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	谷井
		担当者名	播磨、吉野、内田	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（24年度）	都電荒川線活用事業（01-03-02）				
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 24年度 ○ 23年度）		○ 建設事業		● それ以外の継続事業
開始年度	○ 昭和 ● 平成	19 年度	根拠		
終期設定	○ 有 ● 無	年度	法令等		
実施基準	○ 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準		計画区分	● 計画	○ 非計画
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[Ⅲ]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	区の観光資源である都電荒川線を活用し、区外からの観光客を呼び込む。23年度に100周年記念として区内、実行委員会と連携して展開したイベント等の盛り上がりを一過性のものとせず、より一層の知名度及びイメージの向上を図る。				
対象者等	区民、区外の人々及び来訪者				
内容	<p>○都電荒川線ウォークラリー【平成21年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：10月17日（土）</li> <li>・実施主体：荒川区及び北区（主催）、東京商工会議所荒川支部（共催）、東京都交通局（後援）</li> <li>・コース：5コース（南千住、町屋、尾久、王子、滝野川）</li> <li>・区内参加商店街：9商店街</li> </ul> <p>【平成22年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：10月30日（土）</li> <li>・実施主体：荒川区及び北区（主催）、東京商工会議所荒川支部及び東京都交通局（共催）</li> <li>・コース：5コース（南千住、町屋、尾久、王子、滝野川）</li> <li>・区内参加商店街：10商店街</li> </ul> <p>【平成23年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：10月29日（土）</li> <li>・実施主体：荒川区及び北区（主催）、東京商工会議所荒川支部及び東京都交通局（共催）</li> <li>・コース：5コース（南千住、町屋、尾久、王子、滝野川）</li> <li>・区内参加商店街：12商店街</li> </ul> <p>○都電荒川線100周年記念事業※平成23年度のみ</p> <p>【荒川区主催事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都電100周年ツアー、都電100周年企画展（ふるさと文化館）など</li> </ul> <p>【記念事業実行委員会主催事業】※荒川区、北区、豊島区、新宿区及び都交通局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都電サミット（7/24）、都電荒川線沿線絵画コンテスト、花電車の運行、特設HP開設</li> </ul>				
経過	平成23年度は都電荒川線が100周年を迎えたため、沿線4区及び交通局と協力して、また荒川区独自で、都電に関連した各種イベントを実施。24年度以降は沿線4区地域活性化協議会として引き続き連携して活動。				
必要性	区の観光資源である都電荒川線を中心としたイベントを開催することにより、区のイメージアップ・PRにとどまらず商店街の活性化に寄与するところは大きいと考える。				
実施方法	（1直営）（直営の場合 ● 常勤 ○ 非常勤 ○ 臨時職員）				

		（単位：千円）						
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
予算・決算額等の推移	予算額		1,153	1,087	1,113	1,205	1,935	1,413
	①決算額（24年度は見込み）		876	876	971	802	1,726	1,313
	②人件費等			2,965	2,850	3,052	5,505	
	③減価償却費					1,017	2,022	
	【事務分担量】（%）			35	35	35	65	
	合計（①+②+③）	0	876	3,841	3,821	4,871	9,253	1,313
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）							
	一般財源	0	876	3,841	3,821	4,871	9,253	1,313
実績の推移	事項名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
	都電荒川線沿線ウォークラリー		実施	実施	実施	実施	実施	実施
	都電荒川線100周年記念事業						実施	実施
	都電沿線絵画コンテスト						実施	実施

事務事業分析シート（平成24年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成22年度（決算）		平成23年度（決算）		平成24年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
一般需用費	参加記念品ほか		150	参加記念品ほか	214	参加記念品ほか	210
	台紙、ポスター印刷		273	台紙、ポスター印刷	293	台紙、ポスター印刷	315
	役務費		0				
	委託料	会場設営委託ほか	379	会場設営委託ほか	364	会場設営委託ほか	388
	使用賃			都電等貸切（ツアー）	55		
	負担金補助			100周年事業負担金	800	沿線協議会負担金	500

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		21年度	22年度	23年度	24年度（見込み）	目標値（25年度）	
①	都電荒川線沿線ウォークラリー参加者数（人）	1,301	306	1,774	1,800	1,800	22年度は荒天のため時間短縮
②							
③							

問題点・課題 （指標分析）	①平成23年度に、100周年記念事業を機に、沿線区及び交通局との連携が出来たので、今年度以降も継続し、沿線の活性化を図っていく必要がある。
	②平成23年度のウォークラリーは、都電100周年記念効果も大きく、例年をはるかに上回る参加者数となったため、特に抽選会において十分な対応が出来なかった。今後さらなる参加者増を目指すためには、事業の実施方法について見直しを行う必要がある。
他区の実況	（実施 3 区 未実施 区） 港区 「MINATO WALK みんなで歩こう！」 品川区・大田区「つまみぐいウォーク」 足立区 「菖蒲まつり&ウォークラリー」 目黒区 「さんま・たけのこスタンプラリー」

問題点・課題の改善策		
	平成24年度に取り組む具体的な改善内容	平成25年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	都電沿線4区地域活性化協議会という形で連携を継続し、都電荒川線沿線絵画コンテストなどを引き続き実施する。	沿線4区及び都交通局で連携を深め、より沿線地域が活性化する取組を進める。
②	ウォークラリーの抽選会について、実施方法を見直し、より多くの参加者を誘客出来るよう工夫する。	沿線4区でのウォークラリー等の開催実現を目指す。
③		

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
24年度設定	25年度設定	
重点的に推進	推進	平成23年度の都電荒川線100周年の盛り上がりをも、一過性のものではなく定着させていくことが肝要である。

議会議事録 （要旨）	
---------------	--

事務事業分析シート（平成24年度）

No1

事務事業名	受入体制整備事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	谷井
		担当者名	吉野、降矢	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（24年度）	受入体制整備事業（01-03-03）				
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 24年度 ○ 23年度）		○ 建設事業		● それ以外の継続事業
開始年度	○ 昭和 ● 平成	17 年度	根拠	荒川区外国人来訪者受入体制整備支援事業補助金交付要綱	
終期設定	○ 有 ● 無	年度	法令等		
実施基準	○ 法令基準内 ● 都基準内 ● 区独自基準		計画区分	● 計画	○ 非計画
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[Ⅲ]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	観光客の多様なニーズに対応できる受入環境の整備促進のため、外国人旅行者にも配慮した外国語（英語、中国語、ハングル）標記の観光案内標識を整備するとともに、観光ボランティアガイドによる案内を促進させることにより、来訪者の受入体制の充実を図る。				
対象者	来訪者				
内容	<p>1 観光案内標識設置事業 東京都観光案内標識設置補助金交付要綱に基づく補助事業 17年度 日暮里地区 4基 18年度 南千住地区 5基 19年度 都電荒川線沿線 5基 20年度 隅田川沿岸 5基 21年度 日暮里地区の改訂、標識清掃の開始、 22年度 南千住地区の改訂、三ノ輪停留場標識を都から移管 23年度 都電荒川線沿線の改訂</p> <p>2 外国人来訪者受入体制整備支援事業（平成20年度～） ・外国語版ホームページ・パンフレットの作成支援：区内の宿泊施設を営む事業者が外国語版のホームページ又はパンフレットを新規に作成する場合の初期経費の一部（3分の2上限20万円）を補助する（助成件数：20年度2件、21年度1件、22年度1件、23年度1件）。</p> <p>3 観光ボランティアガイド (1)養成講座の実施（平成18年度全10回27人登録、19年度全10回15人登録、20年度全10回23人登録、21年度全10回6人登録、22年度全10回16人登録、23年度全10回8人登録） *登録者数65人 (2)観光ボランティアガイドの活動（平成18年度～）</p>				
経過	観光案内標識設置事業：平成17年度事業開始（04-03-08観光案内標識設置事業から組み替え） 外国人来訪者受入体制整備支援事業：平成20年度事業開始 観光ボランティアガイド事業：平成22年度から観光情報提供事業より移管				
必要性	多言語の観光ボランティアガイドによる案内や標識等の整備を進めることは、来訪客の満足度を高め、リピーターとしての来訪増加が期待出来る。				
実施方法	（1直営 ） （直営の場合 ● 常勤 ○ 非常勤 ○ 臨時職員 ）				

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
予算額	7,500	6,000	10,005	2,262	2,868	1,721	1,745	
①決算額（24年度は見込み）	5,576	5,961	6,635	1,540	1,890	819	1,745	
②人件費等	3,416	3,416	5,082	3,257	3,924	5,928		
③減価償却費					1,307	2,177		
【事務分担当】（%）	40	40	60	40	45	70		
合計（①+②+③）	8,992	9,377	11,717	4,797	7,121	8,924	1,745	
国（特定財源）								
都（特定財源）	5,575	5,961	6,238					
その他（特定財源）								
一般財源	3,417	3,416	5,479	4,797	7,121	8,924	1,745	
実績の推移	事項名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
	観光案内標識設置(改定)	5	5	5	(4)	(5)	(5)	(5)
	外国語版HP作成支援			2	1	1	1	3
	ガイド活動	2	7	9	16	23	26	30

事務事業分析シート（平成24年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成22年度（決算）		平成23年度（決算）		平成24年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
		報償費	ガイド養成講座謝礼	38	ガイド養成講座謝礼	14	ガイド養成講座謝礼
需用費	ガイド消耗品等	167	ガイド消耗品等	111	ガイド消耗品等	197	
役員費	ガイドボランティア保険等	17	ガイドボランティア保険等	8	ガイドボランティア保険等	26	
委託料	標識更新委託	1,228	標識更新委託	305	標識更新委託	574	
	標識清掃委託	200	標識清掃委託	265	標識清掃委託	235	
使用料	ガイド視察バス借上	40	ガイド視察バス借上	0	ガイド視察バス借上	0	
補助金	外国語版HP作成支援	200	外国語版HP作成支援	116	外国語版HP作成支援	600	

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		21年度	22年度	23年度	24年度 (見込み)	目標値 (25年度)	
標	① 設置標識数	19基	19基	19基	19基	19基	数値は累計
	② 外国語版HP等作成支援	3件	4件	5件	8件	11件	数値は累計
	③ 観光ボランティアガイドの活動	16回	23回	26回	30回	35回	来訪者からの依頼に基づく活動数

問題点・課題 (指標分析)	①ガイド依頼が地域的・内容的に偏っており、依頼数が伸び悩んでいる。 ②新たなニーズにも対応していくため、観光ボランティアガイドの資質をさらに向上させることが必要である。
	他区の実況 （実施 6 区 未実施 16 区） 観光案内標識…台東区、豊島区、中央区、葛飾区、千代田区、足立区他

問題点・課題の改善策		
	平成24年度に取り組む具体的な改善内容	平成25年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	新たな利用者層を発掘するため、新たな観光資源である「モノづくり」を取り入れたルートを作成し、積極的にガイドに活用する。	24年度に作成した新たなルートを含むガイドコースのPR及びそれを活用したまち歩きを実施していくとともに、区外へ向け積極的にPRしていく。
②	ガイドの会全体としての活性化を図るため、他地域のガイドとの合同講習会を新たに実施するとともに交流を深める。また、ガイドの基礎的な手順や技能をまとめたマニュアルを作成・活用する。	ガイドの会としての自主的活動をすすめられるよう支援していく。
③		

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
24年度設定	25年度設定	
推進	推進	引き続き観光ボランティアガイドの養成とさらなる資質の向上を図る。

議会 (要質問 旨問状)	H20三定 外国人観光客誘致に向け、観光案内所を日暮里駅周辺へ設置すべき。
--------------------	---------------------------------------